

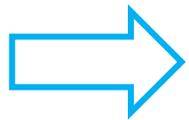
# 科学的介護情報システム（LIFE）の活用

宮城県保健福祉部長寿社会政策課

# 1 科学的介護情報システム（LIFE）について

## ■ LIFE (Long-term care Information system For Evidence) の目的

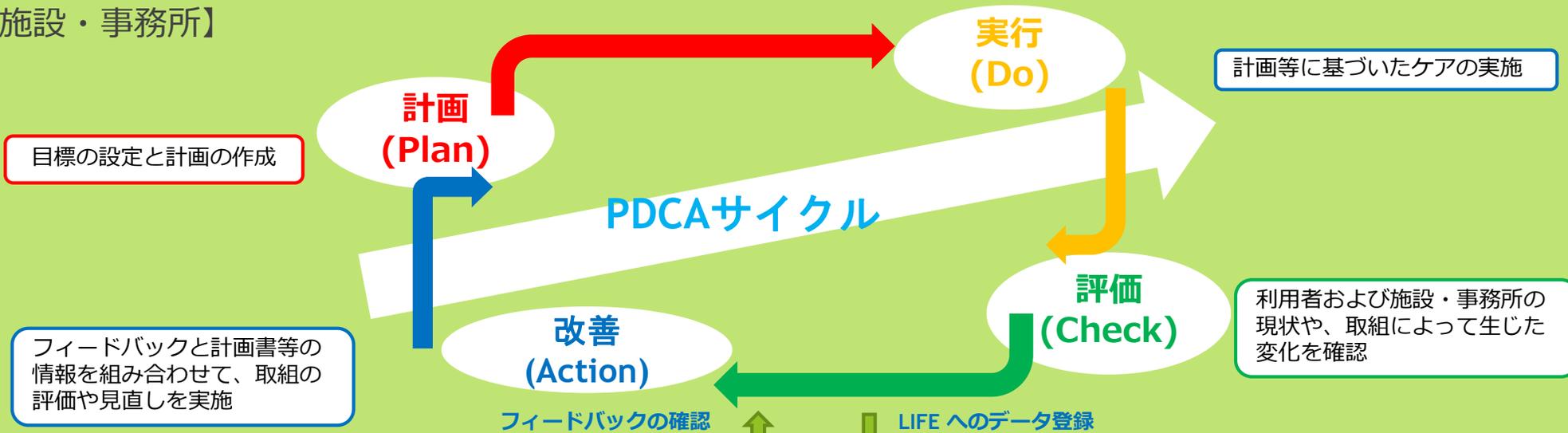
- ・ケアに関わる様々なデータ（ケアプランや介護計画、日々のアセスメントの結果）を活用して  
取組の効果・課題などの把握を行い、継続的に見直しを行っていく



質の高いケアの提供

## 2 LIFEを活用した科学的介護の実践

【介護施設・事務所】



### ■ フィードバック例

- ・ 利用者個人の BMI を時系列に見るグラフ
- ・ 事業所の ADL 平均値が都道府県内の事業所と比較してどの位置か示すグラフ

### ■ LIFE データ項目 (例)

- ・ ADL
- ・ 身長・体重
- ・ 口腔の健康状態 等

### ■ 収集された LIFE データに基づくアウトカム評価を検討

【厚生労働省】

フィードバックの提供

データ収集

LIFE

科学的介護情報システム

- ・ **エビデンスに基づく施策の立案**
  - 施策の効果や課題の把握、アウトカム評価の検討
  - 介護情報基盤運用開始に向けた、介護事務所等の関係者間における情報共有の検討
- ・ **エビデンス創出に向けた取組**
  - 研究者等への匿名 LIFE 情報提供の推進
  - 医療保険等の他の公的 DB 等との連結による詳細な解析の推進

# 3 令和6年度介護報酬改定における変更点

## ■ フィードバックの充実

### ● 事業所フィードバック

- ・ 全国平均値だけでなく、サービス別や、平均要介護度別、都道府県別などにより、比較するデータの層別化が可能となる予定です。

### ● 利用者フィードバック

- ・ 個人単位の評価結果の推移だけでなく、サービス別や、要介護度別、都道府県別など、類似した状態の方のデータとの比較が可能となる

※ また、これまで、3か月に1回提供していたフィードバック情報について、毎月更新した集計結果を提供することで、より新しいフィードバック情報を活用することができるようになる予定です。

## 4 フィードバックの活用について

- LIFE から提供されるフィードバックを活用した「PDCAサイクル」の実践について、各プロセスの取組の概要について紹介します。

# (1) 準備

- 利用者がどのような希望を実現したいのか
- 介護施設・事業所としてどのようなケアを提供したいのか

## 目指す姿を設定

- ※ 設定した目標を達成するためには、利用者や介護施設・事業所が抱える様々な課題を解決する必要がありますが、課題には多くの要因が関係していることが想定されます。
- ※ 一人の視点で取り組むのではなく、介護職員や各専門職のもつ多面的な視点で情報共有を行う体制を作ることが重要です。

## (2-1) Check (評価)

■フィードバック活用の第一歩として、まずは LIFE のフィードバックの中身を確認してみましょう。LIFEから提供されるフィードバックには以下の 2 種類があります。

### ① 事業所フィードバック

- ・事業所フィードバックでは、自施設・事業所の利用者の状態の変化や、全国と同じサービスの介護施設・事業所における相対的な位置について、図やグラフで示されます。

### ② 利用者フィードバック

- ・利用者フィードバックでは、各利用者について、状態の変化が表示されます。

## (2-2) Check (評価)

### ■フィードバック確認の観点

#### ① 項目ごとに全国の同じサービスの介護施設との比較

#### ②項目ごとに過去からの推移の変化の有無。

- ・「変化なし」の場合においても、取組の効果として良い状態を維持している場合や利用者の希望や目標に対して乖離がある状態で維持されている場合が考えられます。変化がないことが望ましい状態であるのか、確認を行いましょう。

#### ③複数の職員でフィードバックを参照し、気付いたことを共有

- ・サービス 担当者会議等の機会を活用しながら、ケアプランや介護計画などとあわせてフィードバックの内容を確認し、利用者及び介護施設・事業所の現状やこれまでに実施した取組によって生じた変化について気付いたことを共有することが考えられます。

### (3) Action (改善)

- 評価の結果をふまえ、利用者の背景やケアプラン、介護計画等をもとに、フィードバックから把握された変化がどのような要因によって生じたのか検討します。
- 利用者の意向やこれまでに実施した取組の効果等をふまえて、次に取り組むべき課題を整理しましょう。

## (4) Plan (計画)

■ **取り組むべき課題をふまえ、次に目指す目標を設定し、目標を達成するための計画を立てます。**

- ① 課題が、介護施設全体として全ての利用者に向けて取り組むべきものである場合、介護施設・事業所全体で実施する計画内容を検討します。
- ② 課題が、利用者個人に関わるものである場合には、該当する利用者に対して個別に計画を立てましょう。

## (5) Do (実行)

- 計画に沿ってケアを実施
- 日々のケアを行う中でデータを記録
- LIFEへデータを提出

# 5 フィードバック活用のプロセス



## 6 ヘルプデスクへのお問い合わせ

■ LIFE に関する各種マニュアル等は、  
LIFE トップページ → 「操作マニュアル・よくあるご質問等」  
から閲覧・ダウンロードすることができます。

※ 操作マニュアルの他、LIFE の導入や操作全般に関する困ったこと  
への対処法等が掲載された FAQ 等が掲載されています。

■ マニュアルや FAQ を参照しても疑問が解消しない場合、  
ヘルプデスクへお問い合わせください。

<ヘルプデスクへのお問い合わせ方法>

- ① LIFE トップページ (<https://life.mhlw.go.jp/login>) に  
アクセス。
- ② 「お問い合わせの方へ」 ボタンをクリック